

第4回日中韓物流大臣会合 共同声明の概要

平成24年7月17日
国土交通省
総合政策局物流政策課

- 韓国、釜山にて2012年7月16日に第4回日中韓物流大臣会合を開催。
- 日中韓三国は、今後の協力の方針について以下のとおり合意。

1. シームレス物流システムの実現

(1) シャーシの相互通行:

日韓はパイロットプロジェクト実施に向けて相互協力、日中はパイロットプロジェクトの実施可能性について共同研究をそれぞれ推進。

【日韓パイロットプロジェクトの概要】

- 釜山～下関航路を経由し、新たに韓国のシャーシを利用して、韓国で製造された自動車部品を日産自動車九州(株)等の自動車(部品)メーカーに向けて、日本に輸送するもの。(日本のシャーシによる韓国側での自動車部品輸送に係る通行は、2011年9月より既に実施)
- 日本の運送事業者は日本通運株式会社、韓国は天一(チュンイル)定期貨物自動車株式会社。
- 相互通行に当たっては日韓両国のシャーシとも、相手国の法制度の適用を受ける。
- 韓国のシャーシの日本国内通行は、2012年後半に開始予定。

(2) 北東アジア物流情報サービスネットワーク(NEAL-NET):

日中韓三国間の港湾物流情報ネットワークの更なる機能充実やサービス対象港湾の拡大に向けて協力を推進。また、対象国・地域を日中韓以外へ拡大する等長期的に検討。

【対象港湾の拡大】

- (日本)東京港、横浜港に加え、川崎港、大阪港、神戸港
- (中国)寧波(ニンボ)港に加え、上海港、大連港、天津港を含む13の主要港湾
- (韓国)釜山港に加え、光陽港、仁川港

(3) パレットの標準化・リターナブルパレットシステム(パレットの再利用促進)実現:

第三回日中韓物流大臣会合において標準化を実現したパレットのサイズに加え、パレット品質や荷役機器のサイズ等についても標準化に取り組むための調査研究を推進。また、リターナブルパレットシステム実現に向けた調査等を推進。

2. 環境にやさしい物流の構築

■ グリーン物流:

海上分野における船舶の省エネルギー運航の共同検証を行う等日中韓三国の協力を強化。

3. セキュリティと物流の効率性の両立

■ 物流セキュリティに係る人材育成・教育:

物流セキュリティ関係の人材育成・教育について情報交換・議論を推進。

4. その他

(1) その他関係分野:

■ 北東アジア港湾局長会議(日中韓三国の港湾担当局長による港湾行政に係る協力の枠組):

日中韓三国で合意したテーマ(トレーラーシャーシの相互通行、マリーナの奨励、港湾使用料)に関する取り組み状況を確認。

(2) 他地域との協力:

■ ASEANとの協力:

ASEAN・日中韓三国大臣会合の開催可能性を検討。

■ 日中韓露北東アジア海陸一貫輸送協力会議(4カ国の局長級会議):

協力会議(平成23年12月)開催の意義及び今後フォローアップ活動を行うことを確認。

■ 欧州との協力:

欧州との港湾物流情報ネットワーク構築に係る協力に向けて検討。

○ 次回の日中韓物流大臣会合は2014年に日本で開催。